

第154回 関西広域連合委員会

日時：令和5年5月25日（木）

場所：とりぎん文化会館（鳥取県立県民文化会）

2階 第3会議室

開会 11時18分

○三日月広域連合長　それでは、今日はすばらしい会場を、鳥取県平井知事をはじめ、鳥取県の皆さんに御用意していただきました。第154回の広域連合委員会を始めます。

まずは、選挙によりまして新たな委員、知事として選出された方々から御挨拶をいただきます。

まず、山下奈良県知事、よろしくお願いいたします。

○山下委員　初めまして、奈良県知事に就任いたしました山下真でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで奈良県は、防災と観光に限っての部分参加でございましたが、私、選挙で全部参加を公約として掲げさせていただき、5月8日の初登庁の日に、部局長を集めた会議及び記者会見の場で全部参加することを早速表明させていただいたところでございます。今後、各構成府県市の皆様方には、奈良県が全部参加するための議会の議決のためにお手を煩わせることとなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、奈良県は京都と並んで観光や文化の点で魅力のある県だと思っています。これらを活かしながら、関西全体を盛り上げるために微力ながら奈良県も全力で奮闘させていただきたいと思っていますので、どうぞ皆様方から忌憚のない御意見をいただきますとともに、私は新人知事でございますので、先輩知事の皆さんからいろいろ御指導も賜りたいと思っていますので、どうかよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○三日月広域連合長　ありがとうございました。

続いて、後藤田徳島県知事よりお願いいたします。

○後藤田委員 徳島県知事の後藤田でございます。初めまして、このたび広域連合のメンバーとして初めて参加をさせていただきました。今後ともよろしくお願いいたします。

今、世界を動かしている欧州連合は、ヨーロッパの27カ国の国の集合体でございます。日本を動かす各都道府県の集合体がまさにこういった広域連合であると思っています。江戸時代から新しい日本をつくったときも同じく藩、地方が日本を変えた、こういう中で、たくさんの成果を出された先輩知事をはじめ、そして今日は全国知事会長の平井知事のもと鳥取県で、三日月広域連合長が広域連合委員会を開催し、そして今日は山下知事が会長として近畿ブロック知事会議を仕切っていただきます。

私がいつも思うのは、事件は現場で起きていると。より現場に近いところで仕事をしたいと22年間、国会議員をさせていただきましたが、今日は皆さんも同じ思いだと思いますが、しっかり頑張ってまいりたいと思います。

特に今、九州が元気だなと思います。新幹線も含めインバウンド、福岡などは1日に韓国に20便以上飛んでいる、こういう中で、我々四国、関西、中国地方、負けてられないなという思いでございますので、ぜひ皆さんと一緒に地方、関西、そしてまた中・四国、一つになって発信していけたらと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○三日月広域連合長 ありがとうございます。

なお、規定によりまして、山下委員には広域防災と広域観光・文化及びスポーツ振興の副担当委員として、また後藤田委員には広域医療担当委員としての事務をそれぞれ御担当いただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

本日は鳥取県で開催していただいています。開催地の鳥取県知事、全国知事会長、平井知事から御挨拶をいただきます。

○平井委員 皆様、ようこそ鳥取へお越しいただきました。三日月連合長をはじめ

皆様のお越しを心から歓迎を申し上げたいと思います。

「夏山の木末の繁にほととぎす鳴き響むなる声のはるけさ」、この句は大伴家持公、実はここ鳥取で私の大先輩ですけれども、国司をされておられました。その方の歌でございます。ちょうど夏の装いになってきた山、ほととぎすがいい具合に今鳴いています。そんな鳴き声のように私たちが美しい声を響かせる、それがこうした会議の目的ではないかと思えます。

本日、初当選されました山下知事、また後藤田知事、早速にお迎えできたことを大変光栄に思います。また、このたびの選挙におきまして、杉本知事も再選を果たされました。ついでに私も5選目をさせていただきました。そんなわけで、無事こうして迎えられたということでございます。ぜひ今日はお楽しみいただければと思います。

後藤田知事のお話にもありましたが、EUのような関係を結ぶ、そういう存在がこの関西広域連合だということではありますが、皆様のお手元のほうに白兔のいろいろな資料を今日はお配りしています。因幡の白兔のあの物語は、実は大国主命と八上姫の縁結びをした、大きな大きな物語、古代のロマンであります。今日もその白兔にあやかりまして、しつこくウサギを追いかけてまいりますので、どうか皆様も一緒になってウサギを追いかけながら、この後の近畿ブロック知事会議も含めて議論していただければと思います。

○三日月広域連合長　ぜひ皆さん、忌憚のない御意見等をいただければと思います。早速、会議を進めてまいります。

まずは、協議事項です。2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）関西パビリオンの出展基本計画案につきまして、議論をしたいと思います。

この会議は、大阪・関西万博関西パビリオン企画委員会として開催し、福井県の杉本知事、三重県の一見知事も御参加いただいています。

それでは、事務局、よろしくお願いいたします。

○本部事務局　では、資料1、関西パビリオンの出展基本計画案について御覧ください。

さい。

まずは2ページですが、概要版でございます。概要版では、博覧会の概要、パビリオンの建築概要、パビリオンそのものの概要、行催事の計画、ロードマップ、パビリオン建築計画、パビリオン内の各エリア展示などの全概要を示しているところがございます。資料に基づきまして、内容について御説明いたします。

まずは5ページでございますが、パビリオンのテーマについて記載をしています。6ページには、出展で目指すものとしまして、歴史と移住定住、産業創出の3つのテーマを含めた地域に息づく「いのち」というもの、それから各府縣市への来訪と会場内外のイベントでの連携という意味での関西各地へのゲートウェイの2本を掲げているところがございます。

次は7ページでございます。こちらには参加主体を紹介しています。大阪パビリオンを出展されておられます大阪府市を除き、福井県、三重県の両連携団体が加わっていただいた9府県の形で出展をしております。

その次に、8ページです。こちらには、SDGsへの取組についてゴールを並べているところです。この中で御注目いただきたいのは、特にインクルーシブな社会実現に向けた取組は強化していきたいと考えているところです。出展につきましては、ウェブパビリオンと、リアルパビリオン、この2つでの参加型展示を含めた展示物、展示の手法につきましても検討したいと考えています。それから実パビリオンでのユニバーサルデザインに基づく空間設計を徹底いたしたいと考えています。後ほど御説明いたします運営計画の中でも、誰一人取り残さないというSDGsの考え方に則って、皆様が楽しめるように適切な配慮を行う計画としています。

次ページの9ページから10ページ、11ページにつきましては、既に発表いたしましたパビリオンの建築計画です。現在、比較的順調に進んでいます。

さて、12ページを御覧ください。展示計画についてです。まず、関西全体の展示について、それから出展各府県の独自展示について、そしてウェブパビリオンの3構成

を述べた上で、13ページでは関西全体を展示いたします「大関西広場」も含めた動きを示しています。まずは、エントランスゾーンとセンターサークルの2ゾーン構成にしています。

エントランスゾーンは、壁面に加えて、できれば床面の活用も検討し、映像など、特に先進的な通信技術の力も借りて展開をしたいと考えています。

それからセンターサークルは、各府県のゾーンへの入口の場所でもございます。壁はこの場にはありませんので、入口上部に丸い壁面をつくった上で、こちらで大画面での映像展示を行ってまいりたいと考えています。特に映像コンテンツは今後詰めてまいりますが、ウェブとのコンテンツ連携や、住民、特に府県市民のアイデアによる映像なども取り入れた上で、オリジナルの映像だけではない、多くの参加者によるコンテンツもどんどん補完して入れることを考えています。

それから、15ページから27ページにかけては、各府県における独自展示を全て紹介しています。事務局としては、これを全部統括しながら、ばらばらの印象にはならないようにしてまいりますし、既に各府県に検討いただいている事務方にも同じ意図で動いていただいていますので、今後それぞれの間の連携関係については、詰めてまいりたいと思っています。

次に、28ページを御覧ください。ウェブパビリオンの概要につきましては、現在プレサイトを運営していますが、今後本当の意味でのパビリオンの予告サイトとしてだけでなく、いわゆるリアルの現場のパビリオンとウェブが連携をして万博出展を行う、いわば両輪にしてまいりたいと考えています。

それから、29ページを御覧ください。こちらには行催事計画を挙げてございます。これは会場内外での行催事ですが、特にパビリオンにおいては、これまで建築工事の建築概要を決めたときには催事スペースと申しておりました半外部のエリアを多目的エリアと呼んだ上で、この多目的エリアとパビリオン前での屋外広場、万博会場での催事施設、それから万博会場外での各府県におけるパビリオン、あるいは催事、これ

らの連携関係についてお示しています。

30ページを御覧ください。ここでは、多目的エリアと屋外広場の活用例を掲げています。なお、多目的エリアの画像はまだ当初の画像でして、半屋外の絵にはなっていますが、夏場ということもありますので、これは屋内化をしまして、冷房の効いた環境といたします。今後、ここは中身を詰めてまいりたいと考えています。

次に、31ページ、万博会場そのものでの催事計画、それから32ページ以降は、各府県域各地でのパビリオン、あるいは行催事を企画いただいていますので、これらを紹介し、統合しているところです。

最後になりますが、40ページを御覧ください。40ページ、41ページは、パビリオンにおける運営計画の概要をまとめています。これについては、リスクも含めて今後の提案の中で固めていきたいと考えています。

それから、42ページを御覧ください。万博後を見据えた取組を紹介しています。万博後は、広域周遊観光も含め、地域資源の魅力増進と再発見、それから産業振興やビジネス交流の促進を掲げていますので、これに沿ったような動きができればと事務局としては考えています。

最終ページの43ページには今後のスケジュールを掲げています。今後、直ちにパビリオン全体としての展示と運営計画の策定に取りかかり、秋にはリアルのパビリオンの建築に入ってまいりたいと考えています。

以上です。

○三日月広域連合長　この間、議論、検討、準備してきていただいたものを計画として取りまとめ、当委員会で議論、お諮りするものですが、何か皆様方から御意見、御質問等はございますか。

一見知事。

○一見知事　委員長、司会をしていただきありがとうございます。

事務局の皆さんには、この資料をまとめていただきましたこと、心より感謝を申し

上げます。その上で、この資料に賛成をするという点を申し上げた上で、2点お願いを申し上げたいと思います。

1点目は、関西は様々なつながりが昔からございます。私ども三重県も滋賀県、それから京都府とは東海道でつながっています。また来年は、熊野古道が世界遺産に登録をされてちょうど20周年を迎える年になりますので、和歌山県の岸本知事、それから奈良県の山下知事と一緒に、来年、私どもは様々なイベントを熊野古道ということで考えていきたいと思っています。その意味で、回遊性について御配慮いただければと思います。今、各府県のブースをしっかりと作っていくことで、形ができたところですが、それをどのようにつないでいくかということも事務局の皆さんにまたお知恵を絞っていただき、我々も参加をさせていただきたいと思っています。また、これから様々な県の連合で2025年までの間に熊野古道などでもイベントを打ちますが、その際に、大阪・関西万博についても発信をしていきたいと思っています。それが1点目でございます。

2点目は、万博のほかの区域との連携もぜひ考えていただければありがたいと思います。関西パビリオンでの連携は非常によくできていると思っています。例えば日本の文化を発信する地域が万博の中にごございます。あるいは企業のエリアもごございます。そういった地域とこの関西パビリオンとの連携を考えていただけますと、関西パビリオンに多くの外国人を含む方々が来られるのではないかと思いますので、これからまたしっかりと御議論させていただければと思います。

以上です。ありがとうございました。

○三日月広域連合長 平井委員。

○平井委員 今の三重県も、例えば伊勢神宮や熊野古道をパビリオンで出される、あるいは滋賀県はマザーレイク、それも水中から見られる。私ども鳥取県も名探偵コナンにちなんで、砂丘で探偵よろしく魅力発見の旅をするというコンセプトですが、今日は別の絵が載っています。私も全部拝見したのは実は初めてですが、結構おもし

ろそうだなと。名物のパビリオンにしたほうがよくて、そのための共同発信、プロモーションを考えるべきではないかと思います。

今、一見知事もおっしゃいましたけれども、これは連合長や事務局のほうで、今日答えということではないのですが、考えていただければと思うのですが、我々みんな仲間ですから、みんなでお互いのおもしろいところを分かり合って、お互いに紹介合ったり、あるいは中でツアーを組んで見てもらうなど相乗効果を出すような仕掛けを考えたほうが、いろいろ考えた魅力を十分に満喫してもらうにはいいのではないかなと思います。ぜひ御検討をと思います。

○三日月広域連合長 山下委員。

○山下委員 奈良県は、各府県による独自展示エリアに展示のブースを出さないということでしたが、それが知事選挙でも話題になりまして、私が知事就任後、関西パビリオンにおいて奈良県独自のスペースを設けることはできないかということを経済局に打診させていただきました。既に、各府県の設計が進んでいるので、技術的に困難だという御回答をいただきまして、それはやむを得ないと思っていますが、「大関西広域圏」のような共通の展示スペースにおきまして、奈良県といたしましてもいろいろな展示をしていきたいと思っていますので、各府県の皆様には、御理解と御協力をよろしくお願いしたいと思います。

以上です。

○三日月広域連合長 後藤田委員。

○後藤田委員 ありがとうございます。

今、平井知事がおっしゃったとおりで、本当にいい資料をつくっていただきまして、まずはありがとうございます。インクルーシブにということ、排他的じゃなくて連続性が関西にあるというのは大事で、例えば、健康と観光と環境、これは日本語になっちゃいますが、ちょっとずつ韻を踏んでいます、歴史観光というのは本当にこのメンバーはすごい。日本の最高の京都、奈良、また伊勢、熊野、高野山も四国八十



八ヶ所に関係していますし、これらの連続性もあるし、健康という意味で、いろいろな県で健康なお茶や食、そして京都はすばらしい食がございます。

そして環境という意味で、徳島県はおもてなしブース、八十八ヶ所的な形で展示しますが、今、徳島県上勝町でゼロエミッション、40種類以上のごみの分別、大変なことですが、サステナブルな発信もさせていただいております。また、高速EVの充電器等々の誘致活動もさせていただいております。ペットボトルのラベルレスの技術もいろいろなところで取り組んでいまして、最先端の発信もしながら、今後、ツーリングや釣りなどのスポーツにもどんどんつなげていくと体を動かすから健康にもなっていくと。健康、観光、環境の回遊ルートやレガシーをつくっていったらなと思います。

最後に、昨日、鳥取市での「新しい学校のリーダーズ」の発信を見てすごいなと思いました。これは外国向けにもすごく発信していますので、ぜひ、大阪・関西万博前にいろいろな発信力、世界に英語でネイティブチェックをしながら、インフルエンサーを含めて発信していくことも大事だなと思っています。

以上です。

○三日月広域連合長　　西脇副広域連合長。

○西脇副広域連合長　　まず1点目、一見知事が前半におっしゃった広域の周遊の話です。これは今年の3月に関西観光本部を中心にしまして、我々も参加して、「EXP O2025関西観光推進協議会」を設置しました。これまでも「THE EXCITING KANSAI」で周遊の様々なルートを作りましたが、これから3年間、広域観光を推進する「万博プラス関西観光推進事業」というのを実施します。いっぱい提案をいただいておりますので、実現に向けて進めたいと考えています。

2点目は、5月15日から文化庁が本格的に始動しています。今年の4月にも万博の機運醸成の京都ラウンドテーブルとして、会場設定と会場運営で各1人、8つのテーマ館で各1人、全部で10人おられるプロデューサーのうち、6人が京都の醍醐寺に来られました。「いのち輝く未来社会のデザイン」の「いのち」というのは、単なる科

学技術だけではなく、文化などが命につながるということもありまして、文化庁が関西に来たことの機運醸成も兼ねて、万博も一つのターゲットイヤーとして、様々な要素の中に文化を散りばめて連携、広域周遊につなげていきたいと思っております。様々取り組んでまいりたいので、御協力をよろしくお願いしたいと思っております。

以上です。

○三日月広域連合長 齋藤委員。

○齋藤委員 今、西脇副広域連合長がおっしゃった広域周遊の関係にもなります。今回の万博は、前回のドバイと比べると3分の1の面積になりますので、恐らく万博を回った後、長期滞在の場合には、他の地域に行くというニーズが必ず出てくると思っています。広域周遊で、例えば兵庫県に来ていただけるというような仕掛けづくりが本当に大事だと思っています。

兵庫県は今、「ひょうごフィールドパビリオン」というプロジェクトを行っています。これは県全体をパビリオンに見立てて、いろいろな歴史、伝統、文化、特に地場産業、農業の取組で、未来社会につなげるSDGsの取組の現場そのものをパビリオンと見立てて、そこにお客さんに来ていただくというものです。特に補助はないのですが、今、既に200近いプレイヤーの方々がこのプログラムに応募してしまっていて、現在113のプログラムが認定されています。これら仕掛けづくりを県民運動としても行っていて、万博のテーマに資するようなところをしっかりと見てもらえるような、そんなチャレンジングな取組をやりたいと思っています。

先週、SDGs未来都市に選定されました。兵庫県は応募が遅かったのですが、その中で自治体モデル事業があって、そこに万博のフィールドパビリオンという我々の取組を入れたところ、委員の先生からも高い評価をいただきました。あるべき万博の理想像として現場に来ていただくということ、現場主義というお言葉もありましたので、関西全体で周遊観光もしっかり行っていくことが大事だと思っています。

○三日月広域連合長 ほか、よろしゅうございますか。

いずれの委員からの御意見もこの計画を補強し、万博の効果を周辺も回遊して波及させる、そしてその後も含めてレガシーとして活かしていくことにつながると思いますので、広域連合で連携してやっていきたいと思ひます。

それでは、この内容につきまして、この方向性で決定させていただくことよろしゅうござひますか。

左様、決定させていただき、今後本格的に準備を進め、夢を持って取り組んでいきたいと思ひます。

○三日月広域連合長　　続きまして、議題が変わります。協議事項2「徳島県ドクターヘリと香川県ドクターヘリの相互応援運航について」、御説明をお願いいたします。

○後藤田委員　　広域医療局です。皆さん御承知のとおり、最近地震も頻発しておりまして、先日も馳石川県知事とも御連絡させていただいておりますが、能登地方やいろいろな地域で地震が起こっています。いろいろな想定外は許されない中で、先輩知事たちも何度もされていると思ひますが、我が県も今、DMATをはじめとした危機管理のいろいろな講習、研修、改めて今現に起こった場合にどう対応するかのシミュレーションを行っております。

今回、御報告をさせていただくのは、お手元の資料の中にもござひますけれども、今まで四国の中で徳島県は、愛媛県、高知県とはドクターヘリの相互応援運航をやっておりましたが、香川県だけはやっておりませんでした。それについて、スケジュール的には6月6日に協定調印をさせていただきまして、7月1日には相互応援運航を開始していきます。二重三重の切れ目のない危機管理、ドクターヘリの相互応援体制を築いていく。例えば、広域連合の中で徳島県から広域連合の皆さんのところにヘリが出動したときに、我が県がゼロになったときにしっかりと連携できる体制、こういったことを二重三重にやっていくと。こういう一つの体制が四国の中では完全に整ったということござひまして、その御報告をさせていただきたいと思ひます。

以上です。

○三日月広域連合長　この点につきまして、御意見、質問等はございますか。よろしゅうございますか。

後藤田委員がおっしゃったように、二重三重のセーフティネットをしっかりとつくっていくということで、6月6日にこの相互応援協定を締結していただくということでございますので、よろしく願いいたします。

それでは、続きまして、協議事項3「令和6年度国の予算編成等に対する提案（案）について」、まず事務局から説明をお願いいたします。

○本部事務局　本部事務局企画課でございます。

資料3をお願いします。関西広域連合の政府提案につきまして、構成府県市の意見を集約し、取りまとめたものでございます。

1の提案項目全体案のとおり、構成は昨年度と同様に4つの柱になりますが、1つ目の新型コロナ関係につきましては、5類移行に伴い、広域医療局において内容を大幅に整理いただいたところでございます。

2の今後のスケジュールといたしましては、本日御協議いただいた上で、6月中を目途に国への提案活動を行ってまいりたいと存じます。

次に、2ページをお願いします。3の主な提案の内容につきましては、下線を引いた部分が前回の提案から追加した項目ですので、その主な内容について御説明をいたします。

まず、2ページから3ページにかけて、新型コロナ関係は5類移行に伴う各種の政策や措置について、10月以降の対応も含めて要望をしていくものでございます。

続きまして、5ページをお願いします。空港の機能強化としまして、空港業務に人材不足が生じていることから、人材確保への支援について追加いたします。

続きまして、10ページになりますが、地域医療体制の確保といたしまして3点追加をしまして、医師の働き方改革への支援、看護職員の処遇改善について、3点目の医療DXの推進については、先月の広域連合協議会で委員からの御意見を踏まえて

追加をするものです。下の段では、ドクターヘリの夜間運航の早期実現について、次の11ページでは、医療機関のサイバーセキュリティ対策への支援について要望しますとともに、このページの下段では、鳥インフルエンザ対策について、昨年度の全国の殺処分数が過去最多となったことから対策の強化を求める内容でございます。

次に、12ページの下の方では、文化庁と連携した取組を更に進めるため、文化財の国際会議などでの活用や、文化財の保存・修理への支援の充実を求めるものでございます。

最後に、14ページが一番下のところですが、政府が進める成長志向型カーボンプライシング構想の具体化に当たり、中小・零細企業への十分な配慮を求める内容です。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○三日月広域連合長 この点、何か御意見、御質問等はございますか。平井委員。

○平井委員 ちょっと突然かもしれないので、最終的な取扱いは連合長で御検討いただければと思うのですが、御意見が若干あるかもしれません。7ページに行政のデジタル化の推進という項目があります。ここに今のマイナンバーカードについて、この信認がいろいろな悪い事情で失われてしまっただけでは、我々地方団体がみんなで一生懸命、政府の号令もありましたが、お勧めをしてきたわけですね。大抵は紐づけの部分や、あるいはそこから発行するとか、いわば業者の部分や、あるいは協会健保のような組合での手作業とか、ここの基準がしっかりしていないという気がします。よく分かりません。ただ、少なくとも信認が失われないように、マイナンバーカードに関わるシステムについてきちんと対応をとっていただくと。それは認証なのか、あるいはそれ以外なのかよく分かりませんが、少なくとも1つのメッセージとして、マイナンバーカードに関わるいろいろな不信を招かないよう政府としての強い対応を求めておくことを、我々のコンセンサスになれば載せていただければと思います。表現のことがあれば、連合長で何かしらの表現をしていただく必要があると思っています。

○三日月広域連合長 今の点、もしくはその他のこと、いかがですか。

今の点で言うと、大変私は大事なことだと思います。したがって、この要望の中に入れるのか、少し特出しで行政のデジタル化全般に関わる基礎インフラの話、その信認に対する投げかけなり、是正、提案ですので、どのような取扱いをさせていただくのかは、事務局とも検討し、皆様方に事務的にお諮りさせていただきたいと思います。

それ以外に何かございますか。よろしゅうございますか。

今の点、平井委員からの御意見は、お預かりし、別途お諮りすることといたしまして、それ以外の内容については左様、決定し、6月中を目途に国への提案を行うことといたします。また、マイナンバーのことにつきましては、時機等も含めて検討し、タイミングを見て、より良い時に出せるようにしていきたいと思います。

協議事項は以上でございますので、続いて報告事項に入らせていただきます。

報告事項1、「関西広域連合によるウクライナ支援の取組について」、広域防災局、お願いいたします。

○広域防災局 広域防災局でございます。資料4を御覧ください。関西広域連合によるウクライナ支援の取組について御報告申し上げます。

1 ページの冒頭部分の記載のとおり、阪神・淡路大震災や東日本大震災からの創造的復興というレガシーを活かしまして、カウンターパートによる支援など、日本への避難民だけでなく、ウクライナ本国民への支援の輪を関西広域連合としても広げたいと考えています。既に各府県市で進められています取組内容の共有、連携調整、共同発信を行うことにより、関西が連携して現地のニーズに応じた幅広い支援に取り組んでまいりたいと考えています。

具体的には、1つ目、各構成府県市による支援内容の共有、連携調整として、広域防災局が事務局となり、各府県市の支援内容を取りまとめ、連合委員会にて情報共有、連携調整を図ってまいります。

2つ目に、支援内容の共同発信です。広域連合のホームページに特設ページを作成し、4ページの別紙4に記載していますが、各府県市の支援内容の共同発信を行って

まいります。

3つ目に、各府県市が実施又は今後実施を予定されている取組について、連携した実施やカウンターパートによる支援等の取組について検討を進めてまいります。

2ページ以降につきましては、ウクライナ本国民への具体的な支援の取組例としまして、兵庫県での創造的復興の理念を活かした支援検討会の設置、そして義肢装具士リハビリなどの支援プロジェクトや、徳島県での阿波和紙によるウクライナ国立歴史公文書館への古文書修復紙支援、そして京都市での姉妹都市キーウ市への寄附、防災対策の物資の支援、そして大阪市での友好都市ドニプロ市への車両の無償提供などを掲載させていただいています。

広域防災局からは以上です。

○三日月広域連合長     ありがとうございます。齋藤委員。

○齋藤委員     ウクライナについては、まだ戦禍が続いており、一刻も早く平和が訪れることを願っています。一方で、復旧復興に向けた動きもウクライナでも進みつつあるというところです。

先日、JICAのウクライナ訪問団が兵庫、神戸にも来て、復旧復興に向けた意見交換をさせていただいたところです。そんな中で、政府間の国同士の協力に加えて、自治体間や民間同士の協力が非常に重要であるという意見がございました。兵庫県は阪神・淡路大震災からの「創造的復興」、災害前よりもより良い社会を創っていくというコンセプトは東日本や熊本にも共有されました。ぜひ戦災からの創造的復興というコンセプトも伝えていきたいと思っています。

先月、兵庫県では検討会を設置し、神戸学院大学の岡部教授に座長に就いていただきました。カウンターパートとして、州や市と具体的に何ができるのかというのを議論しています。第1回にはコルスンスキー大使も出ていただき、兵庫の取組を関西などにも広げていただきたいというお声もありましたので、ぜひ関西広域連合で共有をして、何かできることを一つずつやっていくということにつなげていきたいと思っています。

います。

具体的なニーズとしては既にいくつか出ていまして、水道インフラが破壊されているので、どのように復旧していくかというノウハウが欲しいということ、それから戦争で帰還された兵士たちや子供たちが地雷の被害に遭いつつあるということで、義手義足のリハビリテーションのノウハウを学ばせていただきたいということと、心のケアへのサポートをしてほしいということ。さらには、人材育成ということで、大学生を受け入れて交流をしていくとなど自治体でもできるような取組がありますので、まずは兵庫県がファーストランナーとしてどんどん進んでいきたいと思っています。ぜひ関西広域連合でも共有しながら広げていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

○三日月広域連合長      ありがとうございます。何かございますでしょうか。

率先した兵庫県の取組に敬意を表しつつ、それぞれの府県市で行われていること、また、ウクライナのニーズ等、共有、マッチングしながら、できることを広げていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。また、先般の広島サミットを受けた後のこの鳥取での会議ですし、この後の近畿ブロック知事会議でも様々な宣言等も予定されていますので、みんなで共有をしていきたいと思っています。

ないようでしたら、この報告は以上とさせていただきます。

続いて報告事項2、「令和5年地方分権改革に関する提案募集における関西広域連合と構成府県市との共同提案について」に関し、事務局から説明をお願いします。

○本部事務局      本部事務局地方分権課でございます。

資料5を御覧ください。構成府県市により提案されました令和5年地方分権改革に関する提案募集の項目のうち、関西広域連合が提案団体に名を連ねることに同意が得られた提案事項について、関西広域連合及び賛同府県市の連名による共同提案とさせていただきます。詳細は別紙を御覧ください。

以上でございます。



○三日月広域連合長　何か今の点につきまして、御意見、御質問ございますか。よろしゅうございますか。

では、この内容とさせていただきます。

続きまして、報告事項3、「関西広域連合協議会委員の改選に係る公募委員の募集について」、事務局から説明をお願いします。

○本部事務局　本部事務局連携推進課でございます。

関西広域連合協議会委員の改選につきまして、現在、第6期委員ですが、第7期の委員について公募いたします。公募委員の人数は8名程度としています。各府県1名程度を想定しています。任期が9月1日からの2年間となります。スケジュールについては、明日から公募開始する予定でございます。

各府県におかれては、公募委員に関する広報に関し、御協力くださいますようお願いいたします。

以上です。

○三日月広域連合長　この点、何か御質問等はございますか。よろしゅうございますか。

続きまして、報告事項4、「令和5年度関西広域連合協議会大学生等との意見交換について」、事務局から説明をお願いします。

○本部事務局　本部事務局地方分権課でございます。

資料7を御覧ください。今年度で8回目となります「関西広域連合協議会大学生等との意見交換」については、テーマを「大阪・関西万博を契機とした「担う関西」・「動く関西」・「つながる関西」の創造」としまして、令和5年11月25日に京都市内を開催地として予定しています。

5月下旬から募集を開始しますので、構成府縣市域の大学等に多数御参加いただきますようお願いいたします。

以上です。

○三日月広域連合長 毎回元気な議論をしていただいていますので、ぜひ皆様方、それぞれの府県市で呼びかけ等、御協力のほどよろしく願いいたします。

何か、よろしゅうございますか。

ないようでしたら、続きまして、報告事項5、「関西広域連合議会令和5年6月臨時会の開催（案）について」、事務局から願います。

○本部事務局 本部事務局でございます。

資料8をお願いします。関西広域連合議会令和5年6月臨時会を6月24日土曜日に中之島センタービル内のNCB会館にて開催します。

主な内容としまして、議長及び副議長の選挙、選挙管理委員及び補充員の選挙、常任委員会委員の選任、議案として監査委員の選任、そして一般質問を予定してございます。どうぞ委員各位の御出席をよろしく願います。

以上です。

○三日月広域連合長 この内容もよろしゅうございますね。

以上が予定された協議事項、報告事項でございまして、あとは資料配付ですが、石川県能登地方地震への対応等につきまして、御確認をいただきたいと思えます。

今回の関西広域連合委員会の議題は以上ですが、何かそれ以外、皆様方で御意見、御質問等、御報告事項等はございますか。よろしゅうございますか。

それでは、第154回広域連合委員会を終了させていただきます。皆さん、どうもありがとうございました。

○本部事務局 引き続きまして、この会場で記者会見にこのまま移ります。

記者の皆さん、指名されましたら、お会社名、そしてお名前を発言されてから質問等をお願いします。よろしく願います。

○奈良テレビ放送 奈良テレビ放送の川添と申します。

山下知事にお伺いします。これまで奈良県は、医療体制など、奈良県独自でやれる体制を構築してきたり、近隣の府県とも体制が整っている中で、今回改めて関西広域

連合に全面参加の意向を示されましたが、その意義について教えてください。

○山下委員 奈良県は、生活圏及び経済圏が大阪、京都、兵庫等にわたっておりまして、やっぱり関西あつての奈良県だと私は認識をしています。その意味で、奈良県も名実ともに関西の一員として各府県と関西広域連合を通じて連携協力していくことは、奈良県にとってすごくメリットがあると思っています。

また、様々な行政課題につきましても、奈良県単独より、広域で取り組むほうが効率的である分野はたくさんあると思いますので、各府県との情報共有もそうなんですが、今回こうやって全面加入をさせていただくことをこの場で表明させていただきまして、また各府県の知事さんとも忌憚のない意見交換ができたこと、大変喜ばしく思っているところでございます。

○奈良テレビ放送 その期待されるジャンルについて引き続きお伺いしたいのですが、広域が担う7つの分野のうち、どのようなジャンルに一番期待されて、どのようなメリットを期待されているのか教えてください。

○山下委員 産業振興については、広域連合でかなりいろいろな取組をされていると承っていますので、広域連合での取組に奈良県も参画することで、奈良県への企業誘致にもつなげていけるのではないかと考えています。

また、医療に関しては、災害時の医療連携、これは大変重要な課題だと認識していますので、奈良県にとっても大きなメリットがあると思っています。

環境保全の分野でございますが、地球温暖化対策の推進については、本当に我が国にとっても、また、全世界にとっても喫緊の課題ですので、奈良県としても関西広域連合の一員として全面的に賛同して取り組んでいきたいと思っていますし、鳥獣被害対策は府県境を越えて鳥獣というのは飛び回りますので、奈良県単独でやるよりも広域でやったほうが良いと思っています。

資格試験・免許の分野についても、試験問題の作成など、広域で取り組むほうが効率的にできるのではないかと考えています。

広域職員研修については、これに本県の職員も参加することによって、他府県市の先進的な取組について職員が知見を得ることができ、切磋琢磨して、他府県市はこんなに頑張っているのだという刺激を奈良県の職員が受けることで、非常に大きな意欲を持って県に戻ってきて頑張ってくれるのではないかと考えています。

○奈良テレビ放送　ありがとうございます。

○本部事務局　ほかの社の方、いかがでしょうか。

○読売新聞　読売新聞の前川と申します。

続けて、山下知事にお聞きしたいのですが、大阪・関西万博の件で、県独自のブースの出展が難しいというお話を先ほどされていたと思うのですが、今後どのような形で万博の参加を目指していくかをお聞かせいただけますでしょうか。

○山下委員　先ほども申し上げましたが、関西共通の展示エリアというところがございませぬので、そこで積極的に奈良県の展示をしていきたいと思っています。

○読売新聞　独自のブースの出展は見送られるということによろしいですかね。

○山下委員　各府県でかなり設計が進んでいますので、今さら譲ってくれというのはなかなか難しい状況にあるということですので、県単独の展示スペースの確保、これはもう断念せざるを得ないと思っています。

○読売新聞　ありがとうございます。

○本部事務局　はい、どうぞ。

○四国放送　四国放送の小喜多です。よろしくお願ひします。

後藤田徳島県知事にお尋ねいたします。ちょうど就任1週間で初めて広域連合に参加されました。まず、その感想を聞かせていただきたいのと、関西広域連合を通じて徳島をどう発展させていきたいのかという点をお聞かせください。

○後藤田委員　ありがとうございます。

先ほども申し上げました、我々知事は広域行政、総合調整、補完という地方自治法の、基礎自治体があくまで住民の最前線ですけれども、広域行政、府県域を越えた広

域の連携というのは非常に重要で、そして1県ではなし得ないことが国を動かす力になってくる。また、先ほど申し上げましたEUと同じように普遍的価値だとか新しいものへの取組、プラットフォームとしてはすばらしいものだなと、非常にうれしく思ったし、今回改めてそれを確信するに至りました。

我が県におきましては、今後、他府県の皆様方の先進事例、ベストプラクティス、特に平井知事の県民参加型の基本条例、透明度ですね、私も透明度アップを公約に入れさせていただいていますが、見習っていきたいと思います。

そして、お互いがいろいろな意味でいい化学反応していくことが大事だし、かといってインバウンド、観光、企業誘致、これは取り合いだと思っています。そういうところでは真摯に戦いながら、しかし、いろいろな意味での、国を動かす、世界を動かす、世界をリードする意味でもいろいろな知恵をお互いに出し合って、徳島は学んでいきたいと、このように思っています。

以上です。

○四国放送     ありがとうございます。

○本部事務局     では、最後に1社、お願いいたします。

○NHK     NHKの平塚と申します。

三日月知事にお伺いしたいのですが、奈良県は今回全面参加ということで、今までの部分参加からかなり拡大されるということですが、それを率直に関西広域連合としてどのように受け止めていらっしゃるかお聞かせください。

○三日月広域連合長     大歓迎です。仲間は少ないより多いほうがいい、歓迎いたします。ただ、これから手続がありますので、ここは丁寧に、奈良県さんもそうですし、それぞれの府縣市も取っていくということですが、いずれにしろ仲間が増えて、みんなで関西全体を盛り上げいきたいと思っています。

○NHK     これは事務方の話かもしれないですが、参加に向けて第一ステップとして、知事から連合長に正式な依頼があって規則が改正されるということなのですが、

今日のこの場の挨拶をもって、その依頼をされたと受け止めてよろしいのでしょうか。

○三日月広域連合長　　まず、こういう公開の場で御意向を示されたわけですので、今後、奈良県の中で手続を取っていかれることになると思います。それ以降、次のステップに進んでいくと理解をしています。

○NHK　　分かりました。ありがとうございます。

○本部事務局　　これで記者会見を終了いたします。どうもありがとうございました。

閉会　１２時０５分